

小松由佳さんに山本美香賞、シリア難民描いた著書が高評価

2021年5月16日 掲載

小松由佳さん、山本美香賞



シリア難民の取材のためトルコ南部を訪れた小松さん。背負っているのは次男。2019年11月

シリア内戦の取材中に銃撃され死亡したジャーナリスト山本美香さんの遺志を継ごうと設立された「山本美香記念国際ジャーナリスト賞」の第8回受賞者に、秋田市出身のフォトグラファー小松由佳さん（38）が選ばれた。戦乱が続くシリアの内側を描いたノンフィクション「人間の土地へ」（集英社インターナショナル）が高く評価された。

第8回受賞者は他に、フィリピン生まれ、千葉県育ちのドキュメンタリー作家小川真利枝さんが選ばれた。授賞式は今年26日に都内で行われる。

小松さんは16～17年、「人間の土地へ」の基となる連載「道〜ヒマラヤから沙漠へ」を秋田魁新報電子版に執筆していた。

山本美香記念国際ジャーナリスト賞について

山本美香記念国際ジャーナリスト賞は、2012年8月20日、中東シリアのアレッポにて取材中、銃弾に斃れた山本美香（享年45）のジャーナリスト精神を引き継ぎ、果敢かつ誠実な国際報道につとめた個人に対して贈ろうとするものです。

© 2021 Akita Sakigake Shimpo



第8回受賞の小松由佳氏

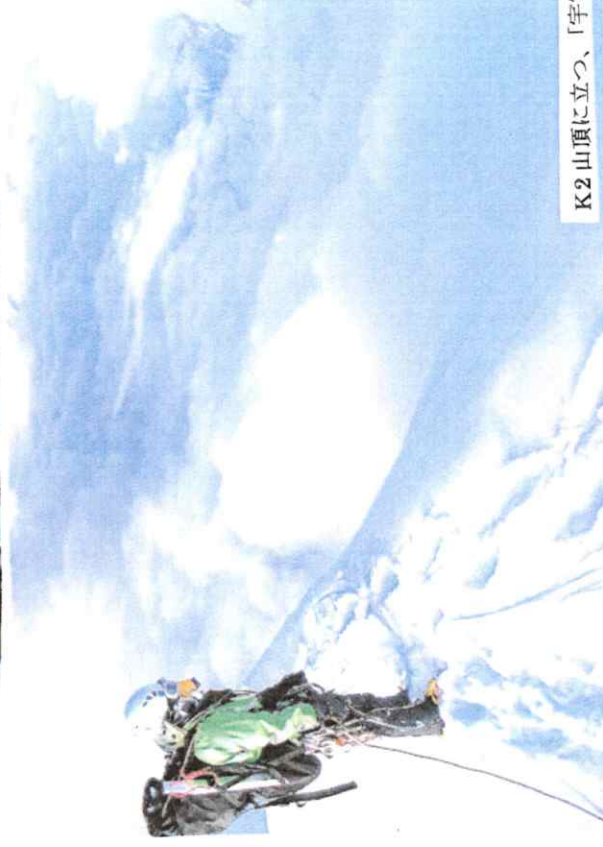


眼下にバクトロ氷河を見渡す

K2に近づく



山頂を目指す



K2山頂に立つ、「宇宙を見た」

山頂から雲海を見下ろし、下降に備える。山頂は折り返し地点でもある

県民栄誉章顕彰式にて



秋田県県民栄誉章顕彰式

